

## 健康診断一次検査での胸部 CT 撮影の取扱いについて（案）

### 【読影部会の委員（医師）から出された主な意見】

- プラークと肺がんの早期発見には、一次検査から胸部 CT 撮影を行うことは有効な方法の 1 つではないか。
- 一方で、胸部 CT 撮影は、胸部 X 線撮影に比べ放射線被ばく量が多く、胸部 CT 撮影による健康へのリスクも考慮すべきではないか。
- 妊娠時の女性への胸部 X 線撮影等の検査は避けるべきであるため、引き続き注意喚起が必要ではないか。
- 石綿作業従事者に対する健康診断においても、一次健康診断の検査方法は胸部 X 線撮影が原則であり、区の健康診断の一次検査を胸部 X 線撮影としていることは妥当ではないか。
- 職業ばく露に比べて短期かつ低濃度でのばく露であったことや、元園児がまだ 20 代から 30 代前半であることを踏まえると、現時点での一次検査の胸部 CT 撮影の積極的な実施は慎重になってもよいのではないか。

健康診断の一次検査における胸部 CT 撮影の実施は、元園児が概ね 40 歳になる段階で改めて検討する。